

## 令和3年度第3回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）

- 1 開催日時 令和3年9月30日（木）午後2時～午後4時
- 2 開催場所 市役所4階 S2・3会議室
- 3 出席者  
（委員）  
藤田委員長、鳥居副委員長、山崎委員、田中委員、湊野委員、室井委員、  
對馬委員、石川委員、大塚委員、坂本委員、工藤委員  
（事務局）  
教育長、生涯学習部長、生涯学習部次長、生涯学習課長、市民スポーツ課長、  
青少年センター所長、郷土博物館長、高洲公民館長、中央図書館長、青少年  
課長、生涯学習係（4名）
- 4 傍聴人 4人
- 5 正副委員長の選出
- 6 会議の運営について（事務局説明）
  - （1）今後の日程について
  - （2）社会教育委員の役割について
- 7 議題
  - （1）報告事項
    - 1）「第2次浦安市生涯学習推進計画 浦安市生涯スポーツ推進計画」について  
（事務局説明）
    - 2）社会教育関係行事案内
  - （2）協議事項
    - 1）「浦安市の生涯学習に期待すること」

## 正副委員長の選出

互選により委員長は藤田委員、副委員長は鳥居委員が選任された。

## 会議の運営について

### (1) 今後の日程について

事務局から、今後の社会教育委員関係事業計画について説明した。また、7月16日に千葉県総合教育センターにおいて開催された「千葉県社会教育委員連絡協議会・総会」について、出席した藤田委員長から報告がされた。

### (2) 社会教育委員の役割について

事務局より説明した。委員からの主な意見・質問等は以下のとおり。

委員長	社会教育委員の役割について説明があったが、質問はあるか。
委員 事務局	資料3-5の8ページに記載されている独任制とは何か。一人ひとりが独立した立場で、個人で意見を述べることができることである。
委員長	社会教育委員の職務として、これまで、資料3-5の9ページの「浦安市におけるこれまでの答申・提言」にあるように、市の抱える課題等に関して社会教育委員として研究調査や提言が行われている。直近では、コロナ禍における浦安市の生涯学習の現状と課題について研究・調査を行った。次回の会議では、提言のテーマなどについて検討したい。

### (1) 報告事項

- 1) 「第2次浦安市生涯学習推進計画 浦安市生涯スポーツ推進計画」について事務局より説明した。委員からの主な意見・質問等は以下のとおり。

副委員長	「第2次浦安市生涯学習推進計画 浦安市生涯スポーツ推進計画」の事業は、どのレベルまで市民に認知されているか。
事務局	計画自体は公開しているが、関連する事業名は公開していないので、公開等については改善が必要である。
委員	第2次浦安市生涯学習推進計画では、合計194事業が関係

していると説明があった。それらは、何を見れば知ることができるのか。

また、生涯学習推進計画では、30ページに青少年自立支援未来塾の写真が掲載されているが、これは事業の一つなのか。

事務局

194事業は整理されており、各事業も担当課によって事業報告などの様々なかたちで皆様にお知らせしているが、体系的なことまでは公開には至っていない。なお、青少年自立支援未来塾も事業の一つである。

事務局

事業は、市全体では1,000を超える非常に多くの事業がある。その全部を示すものはないが、その中で実施計画事業、主要事業については、市のホームページ等で公表している。今後は、生涯学習推進計画と生涯スポーツ推進計画に関する事業についても、わかりやすく知らせるようにしたい。

## 2) 社会教育関係行事案内

事業の開催については、資料をもって説明とした。事務局から補足説明をした。内容は以下のとおり。

事務局

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現在、生涯学習施設の大部分が休止となっているが、10月1日から再開する。時間は午後9時までとなり、音楽ホールは通常よりも1時間短縮となっているが、他の施設は通常どおりの時間に戻る。

## (2) 協議事項

### 1) 「浦安市の生涯学習に期待すること」

各委員の意見等は以下のとおり。

委員

コロナ禍以前は、地域の方に学校へ来ていただき、子どもの学びを支援していただいた。また、幼稚園から大学まで連携ができていたが、今はできない現状にある。その中で、コロナ禍が収束したとき、これまでの連携や地域のつながりが復活できることを願っている。また、コロナ禍であってもコミュニケーションがとれる状況に戻っていけることも願っている。

- 委員 本校（千葉県立浦安高等学校）は、平成27年度に県教育委員会から指導を受けコミュニティスクールを実施している。コミュニティスクールの利点は地域との交流ができることで、学校で得られないことを多く体験することができることで、何かしら地域に貢献でき、その積み重ねが子どもの喜びにつながり、自己肯定感につながっている。本校の文化祭は、PTA同窓会、自治会、卒業生などで文化祭実行委員会をつくることで地域の方が学校を通じてコミュニティができています。今はコロナ禍で地域の交流ができなくなりました。早く収束して、地域とつながる機会をつくりたい。
- 委員 浦安市婦人の会連合会では、市の郷土料理を伝えることを行ってきた。3年前から市民を対象にした事業を展開してきたが、今はコロナ禍で思うようにできていない。今後は子どもたちにオリンピックの金メダルを実際に見てもらえる事業など、子どもたちを対象にした事業を行っていきたいと考えている。
- 委員 青少年相談員と教員をしている。そこで感じることは、子どもたちは学びあい、一緒にいることが嬉しいのだと思った。このことは大人も同様と思うが、大人は既にコミュニティができていながら中に入るのには難しいのではないかと感じる。そこで、初めての人でも参加できる場所を紹介したいと思う。また、保護者も子どもと関わっていく中で喜びを見つけられるようなアイデアを提供したい。
- 委員 今、学校教育はコロナ禍で出来ないことが多くあり、子どもたちの楽しみがなくなっている。緊急事態宣言が解除されても、全てが解除というわけではない。子どもたちには段階的に楽しみを見つけて前に進んでもらいたい。提言にもあるように、学校教育のICT化が進み、小中学校の子どもたちは全員、タブレット端末が支給され自宅から学習することができている。これからは子どもたちにはICTの世界に触れていく環境をつくっていききたい。
- 委員 明海大学は、地域とのつながりが多くある。例えば、学生が小学校に出向き、英語の授業の補助や大学生が小学校の運動会でボランティア活動をするなど校務補助を行っている。また、市で実施している青少年自立支援未来塾に学

習支援者として参加したり、大学の教員が小学校で研修会の講師を務めたりするなど多岐にわたって活動している。活動するにあたり、市の担当部署が社会教育関係以外の部もあり、活動の全体像を把握することは難しいと思うが、この会議では、多くの情報を共有することができればと思う。

委員 青少年自立支援未来塾の学習支援員をしている。日の出中学校がコミュニティスクールのモデル校となり、準備委員を指名されたので、すでにコミュニティスクール活動実績のある浦安高等学校での実践などを教えていただきたい。日の出地区の学校は既に保護者、地域に開かれており、いろいろなことで地区が関わっている。今後も地域との関わりが展開していくことで社会教育にもつながっていくと思っている。

委員 この2年間、コロナ禍で自分たちがつながってきたメリットを社会の人たちが改めて認識をしたのではないかと思う。一方で、学びは止めることはできないので、どうしたら新しい学びの仕方ができるのか、ということも新たに知ったのではないかと思う。私は都内で知的障がい者への生涯学習活動を行ってきたが、コロナ禍で集まることはできなかった。そこで事務局やプログラムの講師と相談しながら、DVDを作成した。DVDの映像が見ることができない人もいるかもしれないが、100%条件が揃ったら作成するというのでは前に進むことはできない。できることをどうやって提供できるかが大切だと思う。実際に視聴した人の感想では、知っている人が出演していることで家族とのコミュニケーションができたなどの声があり、新しい学びの仕方も大事だと思った。

委員 「第2次浦安市生涯学習推進計画」の基本目標として、「自ら学び ともに高めあい 地域に生きる 生涯学習」とあるが「地域に生きる」というのに違和感がある。この意味は地域に生かす、生かせるという理解でいいのか。学習成果をどのように生かせるかというのが生涯学習の計画である。生涯学習と社会教育の違いをしっかりと認識したうえで議論を進めていくことが大切である。具体的に、市の成人式は社会教育の典型だと思っている。若者が自覚して成人

式を企画していることが大切である。コミュニティスクールも浦安市独自の方法があるのではないのか。学校と地域が連携していくことが社会教育であり、この活動を定着させることに協力したい。

委員長 会議の定刻時間を過ぎてしまった。副委員長には、意見を短くお願いしたい。

副委員長 一般社団法人浦安市スポーツ協会には32団体が加盟しているが、さきほど説明のあった浦安市生涯スポーツ推進計画等を団体一人ひとりに認識してもらい、市と同じ方向を向いて取り組んでいきたい。

委員長 私も話したいことはいろいろあるが、時間を過ぎてしまったので、次の機会にさせていただく。  
本日は、これにて閉会とする。みなさん、お疲れ様でした。

### (3) その他

#### 1) 次回の会議日程について事務局より説明

令和3年度第4回定例社会教育委員会議

日時：令和3年11月25日（木）午後2時から

場所：中央図書館 2階視聴覚室